

家庭での自主学習には、AIドリルがおすすめです！

「何を勉強したらよいかわからない」「わからないところを聞ける人がいない」

そんなときには、一人ひとりの得意・不得意を分析し、その子に合わせた問題を出題してくれるAI型ドリル教材「Qubena」^{キュービナ}がピッタリ。前の学年の内容につまずきがあるときは、自動でその部分を出題するので、しっかり復習することができます。

上手に使いこなす3つのコツ

迷ったらヒントを見よう

ほとんどの問題で、イラストを使った説明やヒントが見られます。解き方がわからなくても、自分で解き進めるための手助けとなります。

解説を読もう

正解・不正解に関わらず、1問ごとに解説が表示されます。解き方がわからなかったときには、読んで理解を深めましょう。

解き直して効率的に

間違えた問題だけをピックアップして、解き直すことができます。苦手な問題を繰り返し復習し、定着をめざしましょう。

「学習りれき」機能では、解いた数や正答率、間違えた問題などを見ることができます。お子様の学習状況の確認におすすめです。

保護者の皆様へ

お子様と一緒に、ぜひ「Qubena」^{キュービナ}を体験してみてください。

Qubenaは、自分で進めることができるメリットがある一方で、わからなかったり間違えたりしても、解説を読まずに「次へ」を押してしまってお子様が見えられます。引き続き、学校でも指導を行ってまいります。学習がより効果的なものとなるよう、ご家庭でも見守りや声かけをお願いいたします。

キュービナ
Qubenaの
詳細はこちら



調査の概要

調査日 令和6年4月12日(金)

調査内容 ■ 学習定着度調査

前学年における学習内容の定着状況を把握するための調査であり、問題は基礎問題と応用問題で構成

■ 学習意識調査

日常生活や、学校・家庭での学習状況等を、学年に応じた質問内容で調査

調査校種

校種	学年	教科
小学校	2年生～6年生	国語・算数
中学校	1年生～3年生	国語・数学・英語

全国との比較(平均正答率)

単位: %

小学校	小2		小3		小4		小5		小6	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
足立区	86.3	88.5	85.3	88.8	72.9	77.7	67.3	71.3	66.6	62.3
全国※	82.8	84.3	81.5	83.8	66.5	71.3	62.1	61.8	64.2	56.9
全国との差	+3.5	+4.2	+3.8	+5.0	+6.4	+6.4	+5.2	+9.5	+2.4	+5.4

中学校	中1			中2			中3		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学	英語
足立区	63.6	69.9	87.7	70.6	52.2	55.1	71.2	42.6	59.3
全国※	62.0	65.3	89.1	69.2	50.0	54.0	70.0	43.3	60.7
全国との差	+1.6	+4.6	-1.4	+1.4	+2.2	+1.1	+1.2	-0.7	-1.4

※委託事業者が取り扱っている全自治体分の平均値

お問い合わせ



足立区教育委員会
教育指導部 学力定着推進課

TEL: 03-3880-6597
Fax: 03-3880-5641
Mail: gaku-tei@city.adachi.tokyo.jp



足立区学力定着に関する 総合調査の結果をお知らせします！

足立区では毎年4月に、小・中学校の児童・生徒の学習内容に関する定着状況や、生活(学習)習慣等の実態を把握するための総合調査を実施しています。

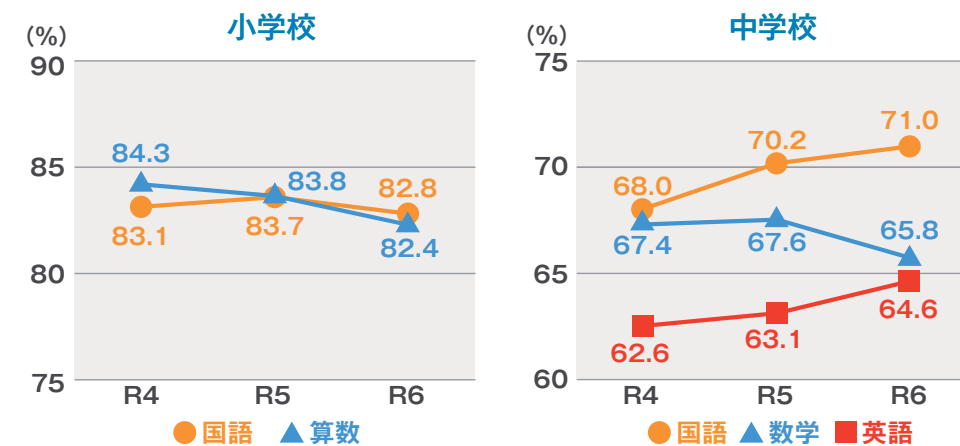
学校や教育委員会は、調査結果や日頃の学習の様子から、一人ひとりの課題を明確にして、確かな学力定着の取り組みに活かしてまいります。



足立区内の小学校の授業の様子

学習内容の定着状況

前学年までの学習内容が定着している子どもの割合※



小学校では、昨年度を下回る結果となりましたが、**8割以上の子どもの前学年の基礎的な学習内容が定着**しています。中学校では、**国語・英語に成果がみられました**が、数学は昨年度を下回る結果となりました。

※前学年までの基礎的な学習内容が定着していれば、本調査において正答できると見込まれる目標値を達成した児童・生徒の割合

確かな学力の定着・向上を支える取り組み

詳しくは2・3ページ参照

学習内容の定着の要因は、この2つだということがわかってきました。

1 教員の授業力向上

足立区の小・中学校における教育活動の根幹は、「**わかる授業**」「**魅力ある授業**」です。区ではこれを実現するため、授業改善を通して教員の**授業力向上**に取り組んでいます。

2 個に応じた学習の充実

「学力定着に関する総合調査」の結果等を活用して、個々の定着状況を把握し、データに基づいたきめ細かい学習指導や、**一人ひとりの能力と可能性を伸ばす**、**個に応じた学習機会**を提供しています。

1 教員の授業力向上

「わかる授業」「魅力ある授業」の実現

児童・生徒一人ひとりが、**自ら進んで学ぶ力**を高めるために、問題解決を中心とした「**足立スタンダード**」という授業スタイルを全教員に徹底し、誰もがわかる授業の実現をめざしています。

また、若手教員の支援や、教育に力を入れている他自治体への派遣研修などを行い、教員の授業力向上をはかっています。

全小・中学校で徹底!!

足立スタンダード

子どもが「自ら進んで学ぶ」問題解決を中心とした授業スタイル

1 めあてを確認し、見通しをもつ。

今日は●●を学習することを確認できた。▲▲の方法で解いてみよう。

2 課題解決に向けて、自分の考えをもつ。

▲▲の方法で、自分なりの考えをもつことができた！他にもよい解き方があるのかな。

3 考えを出し合い、グループや全体で共有する。

■さんの考え
答え：18種類
あーうー
いーあー
うーうー

●さんの考えはとてもわかりやすいな、私の考えにも付け加えよう。

4 めあてに対して学習したことをまとめたり、学習への取り組みに対して振り返ったりし、次の時間につなげる。

落ちや重なりがないように樹形図を使って調べるとよい

まとめはこうしよう。みんなの意見を取り入れながら、自分なりの考えをまとめられてよかった！

その他にも…

教科指導専門員

先生の先生です！



ベテランの元教員などが若手教員を支援しています

秋田県大仙市との教員派遣交流



子ども主体の学習指導方法を学び、区内の小・中学校に広めています

小中連携教育



近隣の小中学校等で連携し、小1～中3の9年間を見通した授業づくりをしています

学力と意識の調査結果からわかること

学力定着には「家庭学習」も大切です

本調査において、学力の定着に課題がみられる子どもには、「**家庭で学習をするときに、何をどのように勉強していいかわからない**」という傾向が見られました。

また、右記のグラフからは、下位層のみでなく中位層を含めた多くの子どもが、**授業以外での学習方法に悩んでいる様子**が見受けられます。



調査の全項目はこちら

足立区 学力調査結果 報告書 検索

宿題は終わったけど…他に勉強って何をしたらいいんだろう…？わからない所を聞ける人もいないし…

そんな時におススメなのが、**AIDリル**。国語、社会、算数・数学、理科、英語の5教科で君の**ニガテ**を分析しながら、**自動で出題！**ヒントや解説も充実しているから、一人でも安心して取り組めるよ！

家庭学習の強い味方、AIDリルについては4ページで詳しく紹介！

2 個に応じた学習の充実

一人ひとりの能力と可能性を伸ばす

足立区では、児童・生徒一人ひとりの力をしっかりと把握し、それぞれの力や目標に合う、個に応じた学習機会を提供しています。

学校の勉強がわからなくなってきた…

誰一人取り残さないフォロー

AIDリル

AIが解答状況から個別最適な問題を出題し、知識・技能を効果的に習得。

対象 小1～中3

教科 国、社、算・数、理、英

MIM(多層指導モデル)

学習の基礎となる「流暢な読み」を獲得するための、特殊音節※の読み方や語彙の獲得に関する指導・支援。

対象 小1

※母音が長くなる音や小さい文字(ゃ、っ等)を含む音のこと

そだち指導

指導経験豊富なそだち指導員が、別教室での個別指導によりつまづきを早期解消。

対象 小2～小4

教科 国語、算数

中1夏季勉強合宿

算数・数学の苦手克服のためのマンツーマン指導を、宿泊形式と通学形式で実施。

対象 中1

英語チャレンジ講座

英語に苦手意識が生じ始めた生徒のつまづきを早期に解消するための、民間講師による放課後補習。

対象 中1



学校以外でも、もっと勉強したい！

子どもの可能性を広げる場を提供しています

英語マスター講座

一定レベル以上の英語力があり、英語力向上への意欲がある生徒を対象に、民間の日本人講師と外国人講師による英会話講座を実施。

対象 選抜試験をクリアした中学生

足立はばたき塾

成績上位で学習意欲も高いものの、家庭の事情などにより学習機会が少ない生徒を対象に、民間事業者による難関校等受験対策講座を実施。

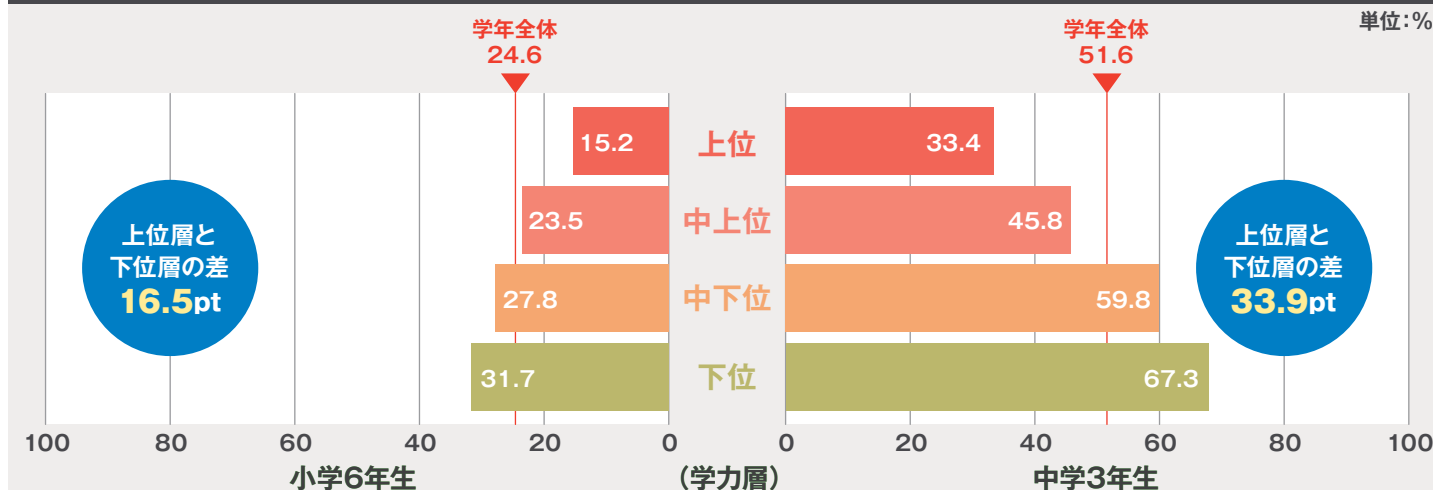
対象 選抜試験をクリアした中3

足立ミライゼミ

家庭の事情などにより塾に通うことができない高校生を対象に、高校3年間を通して、難関大学合格に向けての学習支援を実施。

対象 選抜試験をクリアした高校生

「家庭で学習するときに、あなたが困っていることや、悩んでいること」という質問に対し、「何をどのようにして勉強していいかわからない」と回答した子どもの割合(複数回答可)



※全体を25%に区分しています。